

(科目名) 自然と文化－農の営みを軸に－			(群)	現代社会適応科目群
			(系)	地域交流科目
(所属部局)	(職名)	(氏名)	(開講期)	前期
アジア・アフリカ地域研究研究科	准教授	竹田 晋也	(授業形態)	講義
地球環境学堂	特定准教授	水野 啓	(対象回生)	全回生
農学研究科	講師	三浦 励一	(対象学生)	全学生
アジア・アフリカ地域研究研究科	助教	小坂 康之		
(授業の概要・目的)				
<p>農林業は、生物生産を通じた技術的体系あるいは経済的営為であるだけでなく、自然と深く関わってきた歴史の所産としての文化という側面をもっている。また、農林業は、その営みを通じて地域の環境形成やその維持にも大きな役割を果たしてきた。国内外での多様なフィールドワークにもとづいて、地域の環境や文化の形成・維持に果たしてきた農林業の役割を明らかにしつつ、「農」の営みがもつ現代的な意義と意味を問いかける。</p>				
(授業計画と内容)				
<p>各教員が複数回の講義を担当する。それぞれのフィールドワークを基礎に以下の課題についてリレー講義を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション (教員全員)</li> <li>2. 京都からアグロフォレストリーを考える (竹田)</li> <li>3. 湿田－原風景のなかの植物たち (三浦)</li> <li>4. 農業の歴史に学ぶ (ゲストスピーカー)</li> <li>5. アジアの水田稲作と緑の革命 (小坂)</li> <li>6. アジアの市場から地産地消を考える (小坂)</li> <li>7. ふるさとの家－ベトナム中部の伝統建築から学ぶ (水野)</li> <li>8. インドシナの環境、開発と生業 (水野)</li> <li>9. ヒマラヤの暮らしの変容 (小坂)</li> <li>10. 非木材林産物と資源管理 (竹田)</li> <li>11. アフリカ半乾燥地域での食糧確保と野生植物利用 (石本)</li> <li>12. 飢餓と救荒食 (三浦)</li> <li>13. アフリカ在来農業のリアリティー (水野)</li> <li>14. 農林業から考える自然と文化 (竹田)</li> <li>15. 総合討論・期末試験</li> </ol>				
(成績評価の方法・基準)				
<p>毎回の講義の最後に出席確認を兼ねたアンケート調査を実施する。出席点40点、期末試験60点で成績を判定する。</p>				
(履修要件)				
特になし				
(教科書)				
授業中に紹介する				
(参考書)				

農学を志す学生だけでなく、広く人と自然の関わりや農林業に関心をもつ学生を対象とする。これまでも文科系学生が多数受講しており、理科系・文科系相方の学生の受講を期待する。

講義の中必要であれば紹介する